

「秦野市総合計画HADANO2020プラン後期基本計画」素案に対する
パブリックコメントの実施結果について

1 意見募集期間

平成27年8月1日～8月31日

2 意見募集の周知方法

広報はだの8月1日号、8月15日号（特集号）および市ホームページ

3 意見提出方法

郵送、FAX、電子メールおよび持参の方法による

4 提出された意見の概要

意見内容	件数
計画全体に関する意見	6
序論・基礎指標・リーディングプロジェクトに関する意見	3
第1編に関連する意見	2
第2編に関連する意見	6
第3編に関連する意見	3
第4編に関連する意見	4
第5編に関連する意見	2
行財政改革の推進に関する意見	1
地域まちづくり計画に関する意見	1
合計	28

5 提出された意見の取扱い

区分	取扱い	件数
A	意見等の趣旨等を計画に反映したもの	2
B	意見等の趣旨等は既に計画に反映されていると考 えるもの	10
C	意見等の趣旨等を計画等に反映することは困難だ が、施策展開で参考とするもの	11
D	内容に関する感想等、その他のもの	5

総合計画後期基本計画素案に対するパブリックコメントに寄せられた市民からの意見・提案等

No.	意見内容	意見・提案等の内容又は提案事項	計画案への反映状況	
			区分	反映した内容又は反映出来ない理由、 その他意見提案等への考え方
1	全体	まちづくり計画の骨子、目指す方向にインパクトが見られません。 総花的で、観念的ですので、もう少し方向性が見える言葉を導いてもらいたい。	C	人口減少、少子高齢化の進展に取り組むため、持続可能なまちづくりを進めます。計画内ではできるだけ、わかりやすい言葉での表現に努めます。
2	全体	パブリックコメントの募集は、より多くの市民が気付くよう、市ホームページにおいては目にとまりやすい位置に置くべきではないか。特に募集期間中は名称と締切を明記したリンクを張ることが望ましい。	C	引き続き、身近で、わかりやすく、関心を持っていただけるように、周知方法等の改善をしていきます。
3	全体	本市の将来あるべき姿が「みどり豊かな暮らしよい都市」となっているが、その内容を見ていくと秦野らしさを感じられない。もう少しインパクトのある表現をしてほしい。 また、その課題は何かを記載してほしい。	C	昭和52年から継承され、秦野市のまちづくりの理念的な位置付けとして、市民意識調査（平成21年度）の中でも8割から支持を得ていることから、継承しています。 また、計画のなかに「秦野らしさ」の定義を明記して、考え方を共有できるようにしました。
4	全体	本市の強みは何か。強みを生かすことが必要であるので、再度確認してもらいたい。	A	「秦野らしさ」の定義を次のように定義し、これらの特性を生かして本市の魅力を高めていきたいと考えています。 【ひと】人と人のつながりを大切にする豊かな心 【自然】四季折々に豊かな表情を持つ丹沢の恵み ～水・みどり～ 【まち】鉄道4駅と高速道路1Cを有する快適で生活しやすい住環境
5	全体	各施策に現状と課題の欄があるが、読んでも課題が見えてこない。 なるべく定量で表現してもらおうと理解しやすい。	A	できるだけ、わかりやすく、簡潔な表現に努めるとともに、主な取組みについては文章形式の表現に修正しました。
6	全体	タウンミーティングやワールドカフェなどで市民の声を聞く機会を設けていることは良いことである。参加人数を増やす手立てが必要ではないか。	C	引き続き、開催方法や周知方法等、改善を加えながら、多くの市民の声を聞く機会を設けていきます。
7	序論等	P D C A サイクルによる計画のマネジメントは基本中の基本であるが、本市がこのマネジメントができていないことを社会に示すことにならないか。	D	計画の中に掲げることで、取り組む姿勢を示しています。
8	序論等	リーディングプロジェクトの中に「出産・子育て施策の推進」が挙げられているが、個別施策の実施で達成できるのか。安心して分べんできる対策が強さを感じない。	B	少子高齢化の進展は、本市の最重要課題であると考えており、基本施策として「周産期医療体制の整備及び維持に対する支援」を位置付けるとともに、現在検討しているリーディングプロジェクトや地方版総合戦略の中でもしっかりと位置付けて取り組んでいきます。

総合計画後期基本計画素案に対するパブリックコメントに寄せられた市民からの意見・提案等

No.	意見内容	意見・提案等の内容又は提案事項	計画案への反映状況	
			区分	反映した内容又は反映出来ない理由、 その他意見提案等への考え方
9	序論等	人口減を抑える施策で、目標人口169,000人を達成できるのか。いろいろと計画されているが、各施策の実施で目標を達成できるのかの検証をお願いします。	D	目標人口の見直しを含め、計画策定の中で議論を深めてまいります。 少子高齢化という人口の構造的問題を背景に人口が減少しているところですが、本市の魅力を高める施策を展開し、社会増となるように取り組んでまいります。
10	第1編	自家用自動車の減少施策が必要ではないか。	B	環境への配慮を考慮し、過度なマイカー利用から公共交通等への転換を図るため交通需要マネジメント（TDM）の推進を進めます。
11	第1編	自主防災会や住民の防災意識の高揚と災害自助力の醸成には、より実践的な訓練が必要であることから、市営公園（緑化公園）などを利用した防災訓練施設の整備を検討してほしい。 今後、新設を計画する公園等の施設とし、特にクリーンセンター横に予定されている緑地公園などに設置を期待する。	C	地域の公園を災害対応に利用することは、公園が持っている広場としての災害対応能力を活用することとなり、避難場所とすることも有効と考えております。 しかし、あくまでも、公園ですので専門性の強い特殊な施設の設置は困難であると考えます。
				新設公園における地域の一時避難所としての利用のほか、地域実践型の防災訓練のより効果的な実施により、地域防災力の充実に努めます。
12	第2編	市として、若者が住みやすい環境、子育てがしやすい環境を作っていくべきであり、子育てをしやすい環境としては、教育機関を充実する必要があります。教育機関は幼稚園～中学校までではなく、高校、大学まで目を向けていく必要があります。 東海大学の学生に卒業後もそのまま定着してもらいまちづくりが必要ではないでしょうか。	B	東海大学や上智大学短期大学部とは、すでに包括協定を締結して交流事業などに取り組んでいます。学生に卒業後も市内に定住してもらえる取組みを今後も進めます。 特に、雇用の確保は重要であると考えていますので、関係部署と連携を図ります。
13	第2編	新たに総合大学のキャンパスを誘致してはどうか。	D	新たな総合大学の誘致について、現在、具体的な考えはありません。
14	第2編	神奈川の県西には有力な私学の中学、高校がなく、子育てが熱心な親御さんにとっては、遠くの学校まで通わせることとなり、安全面、経済面にもリスクが高いため、より都心の自治体へ引っ越し選択をする人もいます。 大学付属の中高一貫校を誘致することで、子育て世代の県西離れを止め、新たに都心からの子育て世代を呼び込むことにつながるのではないかと思います。	C	少子化による学校経営のあり方が課題となっており、全体の状況を見ながら、どのような取組みができるのか研究させていただきます。
15	第2編	東海大学前駅周辺では、自転車の盗難発生率が高いため、東海大学等にも注意喚起をお願いしていますが、無施錠が大きな要因ですので、一層の盗難対策強化をお願いします。	C	犯罪発生件数の減少については、自転車盗難のみならず、本市全体の犯罪発生件数の数値を目標とするため、内容の反映は難しいですが、引き続き、東海大学への注意喚起など、秦野警察署、地域と連携を図りながら行っています。

総合計画後期基本計画素案に対するパブリックコメントに寄せられた市民からの意見・提案等

No.	意見内容	意見・提案等の内容又は提案事項	計画案への反映状況	
			区分	反映した内容又は反映出来ない理由、 その他意見提案等への考え方
16	第2編	大根地区の中で南矢名一丁目・四丁目では、台風や集中豪雨等の自然災害への不安を未然に取り除くため、行政における的確な対応と防災体制の構築を求めます。	B	大根地区の中で南矢名一丁目、四丁目の集中豪雨等の自然災害への不安を取り除くために、基本施策1-2-7の主な取り組み「2 大根・鶴巻浸水対策」として反映済みです。 大根地区に限らず、地域の災害特性に合わせた防災体制を構築し、地域防災力の強化に努めていきます。
17	第2編	平沢工業団地と魚作前の信号撤去と国道246号と交わる市道の渋滞時に信号が青となる時間を長くする	C	実態把握の上、必要となれば秦野署と相談し、個別に対応していきます。
18	第3編	水や自然にも恵まれ、都心からのアクセスも良い秦野にとっては企業を誘致するにはチャンスだと思います。 自治体のトップ自らが大手企業誘致へ奔走し、さまざまところで誘致活動を行い、工業だけでなく、物流センターや研究所などを誘致を進めることで雇用が増え、人口、税収を増加する方向にもっていくべきだと思います。	B	企業誘致については、地域経済の活性化や雇用の確保を目指し取り組みます。その誘致の手法や企業の業種等については、取組みの中で検討していきます。
19	第3編	水や自然をメリットに農業の企業などを誘致することで、雇用や農地の活性化も見込まれるのではないのでしょうか？ TPPなどで農業のグローバル化が進んでいく中で、逆に秦野をブランドとして発信するチャンスだと思います。 秦野をブランド化すれば、観光業の発展、駅や幹線道路へのサテライトショップ出店など、第六次産業を推し進めることができると考えています。	B	「農の担い手育成・確保対策の推進」事業の中で、農業への法人参入に対する支援を行っていきます。
20	第3編	「はだの桜みち」を桜満開時に時間帯で自動車を通行止めにしたらどうか。	D	現状でも、多くの交通量があり、通行止めにする影響は大きく、実現は困難であると考えます。 「はだの桜みち」を使ったPR方法については、関係部署と連携を図っていきます。
21	第4編	施策大綱に「歴史・文化」という大切なキーワードが組み込まれていません。機会がありましたら見直した方がよいと考えます。	B	第4編第3章「市民の文化・芸術活動の振興」に位置付けています。

総合計画後期基本計画素案に対するパブリックコメントに寄せられた市民からの意見・提案等

No.	意見内容	意見・提案等の内容又は提案事項	計画案への反映状況	
			区分	反映した内容又は反映出来ない理由、 その他意見提案等への考え方
22	第4編	図書館の新聞の設置変更と奥の図書の自由閲覧 公民館の新聞設置	C	新聞の設置場所の変更や公民館への設置については、現在予定はありませんが、必要性があれば検討していきたいと考えております。 奥の図書の自由閲覧については、管理面から書庫への立ち入りをご遠慮いただいておりますが、一部貴重書を除いて図書館の資料はご覧いただくことができますので、職員にご用命ください。 また、今年度、「図書館書庫さんぽ」を企画し、図書館の裏側を見学できる事業を開催しました。今後も、図書館について知っていただくとともに、読書のきっかけとなるように、利用者のニーズに合わせた各種事業を企画していきたいと考えております。
23	第4編	図書館に関する記述が生涯学習施設の一つとして再編成されたが、詳細は図書館基本計画や生涯学習推進プランに譲るとしても、総合計画の記述としては偏りを認めない。 特に4-2-2の目指すまちの姿(2)に示される図書館の姿は、図書館サービスの第一義だと考えているように取られるので、避けたほうがよい。最も大切なのは、前期基本計画にあった「図書館利用に障害がある人たちへのサービスの充実」であり、4-2のしかるべき位置に残すべきである。また、目指すまちの姿もその延長にあるべきと考える。	C	目指すまちの姿(2)は、だれもが、気軽に利用できる施設として示したものです。 多様な身体的・環境的条件を持つ方たちのニーズにも応えていけるように、読書環境を整備していきたいと考えています。
24	第4編	第4編ひとつづくりの政策の構成への提案 秦野市のプランは、学校教育を先に述べ、生涯学習は後ろにつける構成が続いている。本来「教育」とは、「生涯・学ぶ」ことと不可分で、学校教育は、人生における、ある一時期の学びを指すものであり、「生涯・学習」をベースにとらえる視点や取組みが不可欠と考える。発達段階を軸に構成し、取り巻く人々(市民)がともに成長できる、一つのつながりの政策であってほしい(次の10年プランに向けての提案としたい)。	D	平成33年度以降の総合計画策定の中で検討してまいります。
25	第5編	行政と市民が協働して、まちづくりを進める必要があります。そのためには、住民の意識改革をどのように進めていくかが課題だと思います(自分の地域では話し合いをしています)。	B	地域住民自らの発想で行うまちづくり事業の推進を地域と共に進めていきます。
26	第5編	今後、高齢者が増加し、地域でのソフト面での強化が求められているが、地域で支える人材が不足してきているので、受け皿づくりも考えてほしい。 ボランティア人材の募集や育成が必要であると考えている。	B	市民活動の活性化を図り、個性豊かな地域社会を実現するためにさまざまな市民活動促進事業に取り組んでいきたいと考えています。

総合計画後期基本計画素案に対するパブリックコメントに寄せられた市民からの意見・提案等

No.	意見内容	意見・提案等の内容又は提案事項	計画案への反映状況	
			区分	反映した内容又は反映出来ない理由、 その他意見提案等への考え方
27	行財政改革の推進	公共施設の再配置を大きくクローズアップされておりますが、サービスが低下しないか懸念を抱いております。 まずは歳入を増やし、サービスの質を落とさない努力をすべきではないのでしょうか？	B	「第5 行財政改革の推進」の中で、未収金対策の強化や財産の有効活用による「入るを量る施策の推進」、サービスの質的向上を目指す「質的改革への取組み」を掲げており、この視点に基づき、具体的な取組みを検討していきます。
28	地域まちづくり計画	地域まちづくり計画は、今後単年度に落とし込んで推進する必要がある。自治会では推進できる「ひと・かね・もの」がありませんので、市が支援してほしい。	C	地域の自立を促し、地域の特性を生かしたまちづくり支援を充実していきたいと考えています。